

安全だより

No48

公益社団法人大館市シルバー人材センター
安全委員会

冬季の転倒災害を防止しよう！

① 危険な場所を知り予防しよう

● 過去の転倒災害から見た・・・ワースト3

- 1位 通路(駐車場から自宅等)
- 2位 駐車場
- 3位 出入り口(段差・スロープ等)



● スベリやすい場所では・・・

除雪、融雪、砂敷き、マット、注意表示など、可能な範囲で防止策を行いましょう。

② 正しい靴を選び、意識して歩こう

● 靴を選ぶポイント



A



B



C



D

A: 金属ピンタイプ

◎ アイスパーンに強い

B: 深い溝タイプ

◎ 湿雪でのグリップ力が強い

C: 柔らかいゴムタイプ

◎ スタッドタイヤの効果あり

D: 滑り止め配合ゴム

◎ ガラス繊維・アルミ粒子
セラミックなどは効果あり

× 床タイルでは滑りやすい

× アイスパーンで滑る

× 経年劣化のリスクがある

× 配合材により大差がある

③ 気象状況と転倒の関係に注意しよう

● 冬季の気象と転倒の注意点

- ・ 雪の積り初めは、気持ちや靴の準備ができていない。
- ・ 降雪量の多い日の朝、降雪後の駐車場や路面。
- ・ 気温がプラスとマイナスを繰り返す日。
- ・ 積雪があるのに雨降った後。
- ・ 積雪なくなった春先の新たな降雪。

● 路面が凍結する典型パターン？

日中に気温がプラスになり、夜間や翌朝に冷え込んだ時は要注意、うっすら積雪が被えば、なお危険です。

マイナス2度前後は **注意**！急に冷え込むとアイスバーンになります。

冬季の交通事故を防止しよう！

① 雪道の安全走行の基本



● タイヤチェーンを必ず携行する。

- ・ スタッドレスタイヤでも、坂道を上れずに立ち往生することありますからタイヤチェーンは必需品です。

● スピードを落とし車間距離をとる

- ・ カーブはスリップしやすいので、手前で十分に減速してから進入しましょう。
- ・ 交差点が赤信号の場合には、早めに減速、交差点付近は滑りやすいため減速のタイミングが遅れると、交差点内に進入する危険があります。

● ブレーキはソフトに踏む

- ・ 急ハンドルや急ブレーキ、急発進など「急」のつく運転はスリップの大きな原因になりますから避けましょう。

● 視界が悪いときは無理をして先に進まない

- ・ 激しい降雪や吹雪で視界が極端に悪くなったときに無理をして先に進むのは大変危険です。早めに安全な場所に退避し様子をみましょう。

② 子供と高齢者の事故防止

● ドライバーの方へ

- ・ 早めの出発で「時間・心」に余裕をもった運転を心がけましょう。
- ・ 譲り合いの心と早めにライトを点灯しましょう。
- ・ 道路標識・標示、案内板を良く確認しましょう。

● 歩行者の方へ

- ・ 交通ルールを守り、特に左からの車に注意しましょう。
- ・ 夜間の外出時は、明るい服装と反射材を着用しましょう
- ・ 周囲の状況を確認し足元に注意して歩きましょう。

